てんかんに対する正しい認識と取り組みを

星田　徹（ほしだ　とおる）

1952年10月11日生（56歳）
1981年3月　奈良県立医科大学大学院医学研究科（外科学Ⅱ）卒業
2000年9月　日本てんかん学会専門医
2004年4月　第27回日本てんかん外科学会会長
2008年7月～　独立行政法人国立病院機構奈良医療センター院長

脳の中で嵐がおこり、それが発作となってあらわれる病気「てんかん」―。出産時の傷や交通事故によるものなどいろいろな原因がありますが多くの場合はよくわかりません。今回は、ならどっとFM中川直子アナウンサーが、奈良県にいる4人のてんかん専門医の1人であり、独立行政法人国立病院機構奈良医療センター院長の星田徹先生にてんかんについて話をお聞きしました。

てんかんとはどういう病気なのでしょうか？

てんかんとは、脳の中で異常な興奮が起こる病気で、その発作は脳神経細胞の異常な過剰電気活動によって繰り返されます。神経疾患の中で最もポピュラーでよく知られている病気でありますけれども、実際には正しい理解がされていないことが多いのではないかと思います。100年以上前に言われている事柄が現在でも学校や職場で偏見や差別として残っているのではないかと思います。一般的にてんかん発作は、白目をむいて、口から泡を吹いて、手足がひきつけて、意識がなくなると考えられていますが、それは「ひきつけ」で、運動性の要素を持つ全身の発作です。「けいれん」も「ひきつけ」と同じように使われています。実際には、てんかんというのはこれら「ひきつけ」を含むもっと範囲の広い病気で、いろいろ種類があります。

てんかんは子供の病気という印象ですが、発症するのはやはり子供が多いのでしょうか？

てんかんの70％前後は15歳までに発症しますから、子供の病気という認識があります。ひきつけを起こすと小児科へ行く事が多いです。しかし、15歳を超えてから初めて発作を起こす場合、これまで精神科へ行く事が多かったのですが、今は神経内科や脳神経外科へ行くようになっています。実際に20代・30代から、ひきつけを起こすと自分たちは小さい頃に発作がなかったのにどうしてだろう？と言う方が多いです。さらに最近では、40代・50代もっと遅く高齢者になってからも新たにてんかん発作を起こす方がいます。

こういう方々は今まで心臓や脳血管障害を疑って、てんかんという病気を疑う事はありませんでした。今後はこういう患者もいるという事を十分注意していかなければいけないと思います。

てんかんの治療法については？

現在、てんかんに対する治療は、ほとんどが薬で治すというように言われています。てんかんという診断をうけると、治らないというように意識する方が多いですが、実際には薬を飲んで8割方治るというように考えています。しっかりと薬を飲んだら治る病気だということを認識していただきたいです。発作の症状によって、どういう薬を使うか決まってきますので、しっかりとした診断をつけることが大事になります。薬をしっかり飲み続けるということは風邪薬のように症状が出た時だけ薬を飲むということではありません。ずっと薬を続けていただく必要があります。発作が2回以上続く場合に初めて薬を飲みましょうと一般的に言われています。この場合、薬を飲み続けて最低2年間は発作が無いようにするという事が大事になると思います。

てんかんで悩んでいる方へ、相談できる所はありますか？

てんかんをもつ患者さんやその家族に対して、日本てんかん協会という会があります。1人で悩んでいたり、病気のことを色々と考えてどうしたらいいだろうか、どうしたら治るのだろうか。この誰もわかってくれない病気のことを友達や家族に分かって欲しい、学校の先生や職場の人に理解してもらいたいという悩みや不安をもっている人達が集まって日本てんかん協会ができています。日本てんかん協会は別名、波の会と言います。波の会というのは、てんかんの病気を持つ人は脳波に異常が出ます。脳波を波になぞらえて波の会と言っています。奈良県にも奈良県支部があります。1人で病気のことで悩まないで少し勇気を出して1歩前に歩き出して下さい。みんな同じ悩みを持っていますので、そういう人たちが集まって患者本人や家族、医療・教育従事者など様々な人によっててんかん協会は運営されています。医療の講演会、署名運動などの活動を通じて会員相互の交流や社会への啓蒙活動を行っています。また、社会的な自立を目指して様々な活動や作業を行う場所があります。地域活動支援センターといって大和郡山市にNPO法人Com．きらめきというのがあります。てんかん患者の特性を最大限に考慮して、パソコン教室や、名刺・年賀状を作成したりステンシルという技法を使って暖簾や布バッグなどを仕上げたりしています。こういう地域の中に入って地域を知っていろいろな活動をみんな一緒にやって行こうとしていますので、1人で悩んだり不安や不満もある人たちが集まってこれからも一緒にやっていかれたらどうでしょうか。奈良医療センターでは小児科でてんかんを診ています。私は脳神経外科ですがてんかんも診ています。子供からお年寄りまで月曜日・水曜日に来ていただいたら良いと思います。

詳しいインタビュー模様を、ならどっとFM78.4MHzで放送します。

7月14日(火)、21日(火)、28日(火)
ナビータならトワイライト内
16:30～3回にわたって放送予定

WEBフリーマガジンナビータならでも放送音源を公開します。ならどっとFMHP、ナビータならHPからアクセスして下さい。